



西村優子 にむらゆうこ



空間演出研究所

1978年生まれ。日本大学芸術学部デザイン学科建築デザインコース卒業。筑波大学大学院修士課程芸術研究科デザイン専攻構成分野「折りかたち」を継承していくにあたり、「折り紙」の分野だけにとどまらず、折りの可能性を追求したいと考えている。古来より受け継いできた日本人の心のかたちを、文化と造形の接点として現代の造形に試みを行って

る。折形デザイン研究所のメンバーでもある。

空間演出研究所は、東京藝術大学デザイン科第3研究室のメンバーを中心に、2016年末に活動を開始。代表は東京藝術大学博士課程の西郷徳、所長は同大学デザイン科准教授の鈴木太郎。私たちの望む表現の夢を、グループに収まることなく社会に対して仕掛けてゆく。

参加作家 ARTISTS



渡辺英司 わたなへえいじ



GELCHOP ゲルチョップ

2000年に結成。モリカワ ヨウタ、オサヲ ツツヤ、タカハシ ヨウヘイ、3人の工作好きによる活動。3D造形グループ。パノフーケで、イメージと現実の世界をつなぐ、立体とイカチコリーのもと、多岐に渡って活動。パノグラフィ、アートワーク、オリジナルプロジェクト、はたまた玩具や農作物、車、建築、エレクトロニクス、コミュニケーションにいたるまで、「つくる」ということを「DIY」精神をもって探り、手を汚す日々を過ごす。

1961年生まれ。1985年愛知県立芸術大学彫刻科卒業。名古屋市在。2004-2005年文化庁滞在(エシノバ芸術大学客員研究員)。主な展覧会:2001「出会い」展 東京オペラシティアートギャラリー(東京)、2007「笑い展:現代アートにみる「おかしみ」の事情」森美術館(東京)、2010「第1回あいちトリエンナーレ」(名古屋)、2017「Art Zuid 2017」アトナヤベル(アムステルダム、オランダ)など。撮影:Yasuko Otsuka



NAKAYOSI なかよし



青田真也 あおたしんや

アーティスト。身近な日用品など、さまざまなものを、本質や価値を問い直す作品シリーズを中心に、本質や価値を問い直す作品シリーズを展示に、「あいちトリエンナーレ2010」,2014「日常/オノコ」(神奈川芸術劇場)、「MOT アニュアル2014」(東京都現代美術館)、「青田真也 | よりそうかたち」(Breaker Project, 大阪、2018年)など。また名古屋港エリアのポートロラムやフェスティバルの共同プロジェクトも務める。撮影:三浦知也

L PACK。(小田桐奨、中嶋哲矢)と青田真也のユニット。2012年の「ボジション2012」展(名古屋市美術館)にて、コラボレーションカフェを開催。2013年の「あいちトリエンナーレ2013」会期中、NAKAYOSIとして長者町会場に期間限定の伝説的スペース「VISITOR AND STAND CAFE」をオープンした。訪れる人が心地良く親しみを持って参加できるイベントや企画を行う。



松岡亮 まつおかりょう



L PACK, エルパック

小田桐奨と中嶋哲矢によるユニット。共に1984年生まれ、静岡文化芸術大学空間造形学科卒業。アート、デザイン、建築、民藝などの思考や技術を横断しながら、最小限の道具と現地の素材を臨機応変に組み合わせ「コーナーのある風景」をきっかけに、まちの要素の一部となることを目指す。撮影:Koichi Tanoue

絵を描く、刺繍や布のコラージュ作品なども発表。何時からだったか子供の頃から描き続ける。それが生活や旅に繋がりがり、人に繋がりがり、場所に繋がりがり、描き続ける事に繋がれる。繋がる中で絵やイラストレーション、壁画、刺繍の制作など、solo exhibitionやlive paintなど国内外を問わず活動を続ける。

なおえつ うみまちアート ART SEASIDE NAOETSU
2021.8.1(日)——9.26(日) 10:00—17:00 入場無料 船見公園周海岸辺会場 10:00—19:00

ヴィジョン 未来への交感
Mutual Sympathy for the Future

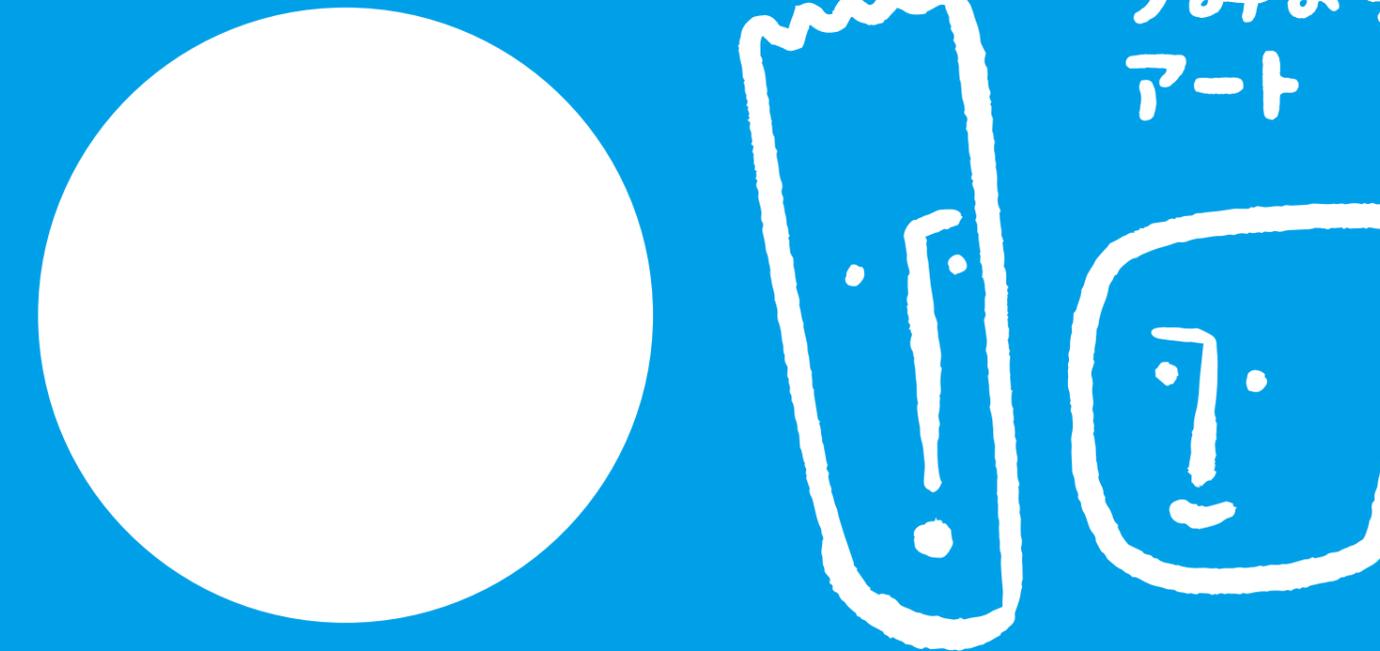
ここ上越の地には、固有の風土気候に生きる智慧や矜持、美が重層的に秘められています。時代を越えて受け継がれてきた素晴らしい先人たちの財産で、遙か遠く未来までも照らしたい。文化や芸術が架け橋となって、街の魅力や賑わいをみんなで交感する風景をつくりたい。目線は、100年後の暮らし。2021年夏、今を生きる私たちの手で未来の人たちもよろこぶ直江津を目指し、この地のために生まれたアートを携えて、未来志向の新たなシビックプライドを醸成します。アートは、それにふれる人の目や心の中に存在し、人の数だけ違いがあって、その多様性を楽しみながら街の力にできるもの。今、私たちは未曾有の不確定で困難な状況に置かれています。これまでの日常を取り戻せなくても、私たちのアートで次なる社会を切り開くことができる可能性がこの地にあると信じています。みなさんとともにこれまで歩んできたこの道の先へ、勇気ある一歩で、新たな挑戦に踏み出します。

テーマ 「うみ/まち/ひと」

豊かな自然と海運で栄えた日本海に面した港町、直江津。古の時代から商いととともに、さまざまな人や文化が漕ぎ込みあって、その時々新たな価値を創造してきました。その営みの中に、アートの種が宿っています。アートは人間の根源から生まれた術であり、暮らしの中に息づく美しい生きる力。それは歴史という時間、街という空間と呼応しながら、普段意識することのない感覚をしなやかに揺さぶります。人は街、街は人。人が変われば街が変わり、街が変われば人が変わる。この夏は海辺の街に集うみんなで、ここにしかない新しい体験を創造し分かち合います。目が覚めたままみんなで見ると、夢のような、うみとまちとアートがすぎ込まれた街の景色がまた、新たな何かを生み出すでしょう。海を渡り、港を廻るかつての船のように、今を生きる私たちが未来への贈り物になることを願って。

アーティスト：空間演出研究所/GELCHOP/西村優子/渡辺英司/青田真也/L PACK./NAKAYOSI (L PACK. x青田真也)/松岡亮 キュレーター：鈴木潤子 主催：なおえつ うみまちアート実行委員会

“かお”をつくろう
LET'S CREATE ORIGINAL FACE



なおえつ
うみまち
アート

ガイドマップ
GUIDE MAP

お問い合わせ
なおえつ うみまちアート実行委員会事務局 (上越市 企画政策課内)
〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号 TEL:025-526-5111
なおえつ うみまちアート公式ウェブサイト: https://artseasidenaoetsu.jp
インフォメーションセンター TEL:090-2437-3621

展示会場 ART SPOT

インフォメーションセンター(E)を出発し、
A-Dの展示会場を歩いてまわろう！

各会場間の歩行時間目安

E-A 10分 | A-B 10分 | B-C 20分 | C-D 5分 | D-E 20分

A 安国寺通り特設会場



02

直江津アップサイクルセンター
GELCHOP



06

A.B.in Naoetsu
青田真也



07

動く。動き出す。遊び。
松岡亮



08

Atelier Shop Naoetsu
L PACK.
2021.8.1(日) — 8.9(月)



09

アーティストマーケット
NAKAYOSI
NAKAYOSI(L PACK.x 青田真也)
2021.8.1(日)

B 直江津屋台会館



04

名称の海園/
めいしょうのみその
渡辺英司



C 船見公園周辺海岸会場



01

そらのみなと
空間演出研究所

D ライオン像のある館(旧直江津銀行)



03

100年後・
旧直江津銀行の姿
西村優子

まちなか各所



05

小さな屋台/移動案内車
渡辺英司

まちなかの彫刻・立体作品

- 直江津/田辺光彩
- 平和友好像/岡本鏡二
- 潮騒/岡本鏡二
- L第一防波堤/峯田敏郎
- 夕映えのエチュード/岡本鏡二
- 夢いっばいの海へ/松尾大介
- 平和塔/戸張幸男
- 赤いろうそくと人魚像/大道寺光弘

E インフォメーションセンター



インフォメーションセンターでは、うみまちアートについてのご案内のほか、飲食ができる休憩スペースを設けています。ぜひご利用ください。

- マスクの着用、手洗いや手指消毒にご協力ください。
- 風邪症状がある方、検温により37.5度以上の方の入場はお断りいたします。
- 混雑時には会場への入場を制限することがありますので、ご了承ください。
- 小学生以下のお客様は保護者の同伴が必要です。

なおつ
うみまちアート
音声ガイド

iPhone



Android



各会場でスタンプを押して
自分だけの“かお”をつくろう！

各会場に顔のパーツのスタンプがあります。

A:輪郭 B:目 C:鼻 D:口



上越観光ナビ



<https://joetsu.kankonavi.jp/>